

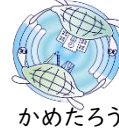
学校教育目標：「向学 自主 協働」

校訓：「夢を実現」



川通中だより

令和7年4月8日 第1号  
さいたま市立川通中学校  
TEL 048(799)1061  
川中キャラクター ホームページ



～スローガン：「一生懸命はかっこいい」～

かめたろう

## 「夢の実現」のために

校長 鈴木 純

4月当初の底冷えが桜の開花を抑え、本校の校庭を囲むように植わっている川中桜は、新年度を迎える川中生を待っているかの如く、鮮やかに花を咲かせてくれました。春は希望の季節、新たな気持ちでスタートを切る季節でもあります。64名の新入生を迎え、在校生と合わせて計178名の生徒とともに、教職員一同、本年度の教育活動の第一歩を踏み出すことができました。

さて、本校には「夢を実現」という校訓があります。みなさんは「夢」をどのようにとらえていますか。頭の中で描いている「夢」や心に思っている「夢」だけでは、ただの「夢」にしすぎません。では、「夢の実現」のために何をやらなくてはならないのでしょうか。まず、アクションを起こすことから始めてみましょう。そして、その実現のために動き始めたときから、様々なハードルが出現します。つらいことやうまくいかないことなど様々な困難（ハードル）を乗り越え、「夢」を追い続ける過程での挑戦や努力が皆さんを一回りも二回りも大きくしてくれます。その繰り返しこそを大切にしながら、1年生は「夢を見つける」2年生は「夢をみつめる」3年生は「夢をかなえる」とステップアップしていきましょう。3年間の中学校生活を通して、「夢の実現」に向け、目標を立て積極的に行動していくことを期待します。

ところで、ドジャースの大谷選手の母校である花巻東高校で、野球部を指導する佐々木 洋（ささき ひろし）監督の記事が、以前、朝日新聞に掲載されていました。「目標を立てる」という記事です。佐々木監督が率いる野球部では、部員全員が必ず目標を立てているそうです。その方法は、81マスの設定シートを使い、 $3 \times 3 = 9$ マスの真ん中に最終目標を書きます。その周囲の8マスに「そのために何をするのか」を書きます。これは中間目標になります。中間目標の周りもマスで囲い「何をするか」を書きます。何をするかは、具体的な内容であることと期限を設けることだそうです。

「目標を立て、そのためにすべきことを考え、自分の進む道を明確にする」。この方法に行き着いたのは佐々木 洋監督の苦い経験があったからだそうです。岩手の高校を卒業後東京の大学に進学。プロ野球の選手あるいは高校野球の指導者を夢見ていました。そんな風に考えていた佐々木監督ですが、東京での生活に楽しみを覚え、実際の野球生活がおろそかになっていたころ、書店で手に取った本に「思考は現実化する」「夢と目標は違う」「目標には数字と期限がある」、「目標は書け」ともあったそうです。その後、佐々木監督は「28歳で甲子園に出る」と手帳に書いたそうです。そして、20歳の時に書いた目標より2年遅れましたが、監督として、甲子園に立つことができました。佐々木さんはこうも言っています。「あの時、目標を立てていなかったら、甲子園に立てていなかった」と。

新年度初め、みなさんは様々な目標を立てるでしょう。また、様々な場面で目標を立てることがあるでしょう。ぜひ、佐々木監督が実践した目標の立て方「目標を立てる→そのために何をするのか（中間目標）→具体的に何をやるか・期限はいつまでに」について、参考にしてみてはいかがでしょうか。

最後になりましたが、子どもたちが予測困難な時代を生き抜くために、一人ひとりの幸せな人生と豊かな社会の創造を追求する「Well beingを保証する教育」の実現を目指して、本校教職員一丸となって、教育活動にあたります。ご家庭と地域のお力を借り、一緒にお子様を育ててまいりたいと存じます。今年度もぜひ、よろしく願いいたします。